



平成 30 年 2 月 6 日

各 位

上場会社名 玉井商船株式会社  
代表者 代表取締役社長 佐野 展雄  
(コード番号 9127)  
問合せ先責任者 常務取締役 木原 豊  
(TEL 03-5439-0260)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 11 月 8 日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

|                             | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1 株 当 たり<br>当 期 期 純 利 益 |
|-----------------------------|-------|---------|---------|-----------------|-------------------------|
| 前回発表予想 (A)                  | 5,200 | △100    | △200    | △40             | △2 円 07 銭               |
| 今回修正予想 (B)                  | 5,200 | △40     | △140    | 40              | 2 円 07 銭                |
| 増 減 額 (B-A)                 | —     | 60      | 60      | 80              |                         |
| 増 減 率 ( % )                 | —     | —       | —       | —               |                         |
| (ご参考)前期実績<br>(平成 29 年 3 月期) | 4,557 | △360    | △451    | △822            | △42 円 58 銭              |

#### 修正の理由

第 3 四半期までの実績を踏まえ、自社外航船舶と外航用船船舶の配船計画を見直し、上記の通り修正いたします。

|           | 前回予想<br>(平成29年11月 8 日公表) | 今回予想<br>(平成30年 2 月 6 日公表) |
|-----------|--------------------------|---------------------------|
| 期中平均為替レート | 1US\$=110円               | 1US\$=110円                |
| 予想燃料油価格   | US\$320/MT               | US\$355/MT                |

●配当予想の修正について

|                              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|------------------------------|--------|--------|--------|------|------|
|                              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|                              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 前回予想<br>(平成 29 年 11 月 8 日発表) | —      | —      | —      | —    | —    |
| 今回修正予想                       | —      | —      | —      | 0.00 | 0.00 |
| 当期実績                         | —      | —      | —      |      |      |
| 前期実績<br>(平成 29 年 3 月期)       | —      | —      | —      | 0.00 | 0.00 |

修正の理由

当社の剰余金の配当の基本方針としましては、変動の激しい海運市況に備えるため、また、将来の事業展開に備えるため、財務体質強化をはかる必要があると考えており、そのための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施すべきと認識しております。

平成 30 年 3 月期の配当予想については、経営環境の先行きが不透明であったことから未定とさせていただいておりましたが、これらの結果を総合的に勘案し、誠に遺憾ながら見送りとさせていただきます。

今後も早期の収益回復、復配に向けまして経営努力を重ねて参ります。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上